

## よい仕事おこしネットワーク

### 成約事例

# 福島県の産地直送新鮮野菜を 東京の子供たちに提供!!

福島県の農産物の産直販売キャラバンが、  
東京都文京区の「子供食堂」へ  
野菜を無償で継続的に提供することになりました！

#### 「よい仕事おこしネット」が仲介

福島県矢祭町の農家で作る協議会が、文京区の子ども食堂「おもてまちおもてなし食堂」へ、同県産野菜などを寄贈した。全国の信用金庫が、地元企業・団体の支援を目的に連携する「よい仕事おこしネットワーク」が仲介して実現した。

寄贈したのは矢祭町特産品開発協議会。市場に流通されない規格外野菜などをワゴン車に積んで出張販売する産直キャラバン「矢祭もったいない市場」を都内を中心に展開している。

おもてなし食堂は、親の帰りが遅い子どもをはじめ独り暮らしのお年寄りら、幅広い世代と一緒に食事を楽しむ。毎月第4木曜、文京区小石川の見樹院で午後6~8時に行っている。



矢祭町の熊田孝子さん(左)と文京区小石川で

#### 文京の子ども食堂に 福島の新鮮野菜寄贈

食材探しに苦労しているとスタッフの山本和子さん(63)から聞いた城南信用金庫社員が、よい仕事おこしネットワークを通じて矢祭町特産品開発協議会に相談、協議会が決議した。

21日、協議会の熊田孝子さん(69)が山本さんを訪ね、コメや卵、ナバナやネギなどを贈呈。宮城県気仙沼市で被災地支援に携わっている山本さ



野菜を贈った熊田さん(右)  
左から川本副理事長、山本さん

#### 町内産農産物贈る

矢祭町特産品開発協議会

矢祭町の農家でつく

の世帯などを対象に開

は一日、東京都文

いて「おもてなし

食堂」の食材として活

用する。

産業を

協議会は毎月二回、

都内にある城南信用金

庫の品川、大井両支店

で矢祭産野菜を都民に

販売する「もったいな

い市場」を開催してい

る。同信金は町会のス

パン便で顧客がいる縁

で、新鮮な本県の農産

物を都民に食べてもら

うとともに、町会の活

動に弾みをつけようと

両者を仲立ちした。

セレモニーで開店式を行

い議会事務局を務める熊

田孝子さん(左)が町会の活

動に弾みをつけよう

と話す。城南信

金の川本恭治副理事長

が参加している。

▲東京新聞2019年4月24日(水)掲載記事

▲東京新聞2019年4月22日(月)掲載記事

東京都文京区社会福祉協議会の助成を受けて始まった「おもてまちおもてなし食堂」(東京都文京区)は、これまで関東近郊の農家の方々から廃棄する予定の野菜を提供いただき、料理を提供(大人300円、子供無料)していましたが、食材の調達が不安定なことが悩みとなっていました。今回、ネットワークを通じて、福島県矢祭町の農産物を東京で販売している産直キャラバン「矢祭 もったいない市場」(福島県 矢祭町)が、野菜を無償で継続的に提供することとなり、安定した食材の調達が可能となりました。



よい仕事おこしネットワーク

## 成 約 事 例

# 東京の最先端研究施設開発業者と 静岡県の優良協力業者の出会い

東京の最先端研究施設開発・施工業者と、  
静岡の空調ダクト材製造・工事業者が、  
今後の静岡県発注の研究設備施工の受注増加を見込み、  
業務提携を締結しました。



静岡県発注の研究設備の施工の受注増加が見込まれ、県内の協力業者を探していた「オリエンタル技研工業株式会社」(東京都千代田区)と、一般・特殊空調設備の設計・施行メンテナンスなどの工事を多く手掛け、技術力に定評のある「アサヒ冷熱株式会社」(静岡県沼津市)が、最先端研究施設の施工工事に関して大型契約を行うことになりました。オリエンタル技研工業では、地縁のない静岡県での協力会社探しに苦慮していると取引金融機関の城南信用金庫(東京都品川区)に相談したところ、「よい仕事おこしネットワーク」を介し三島信用金庫(静岡県三島市)からわずか2営業日で11社の協力企業のビジネスマッチング提案を受け、同社との提携が具体化したものです。中小企業は「少子高齢化社会」「生産拠点の海外移転」などによる地域経済の衰退に直面し「取引先開拓」「販路拡大」などの課題を抱え、一方、金融機関にも、取引先企業への本業支援や中小企業の経営改善に資する取組みを行うことが求められている中、**今回のマッチング事例は、様々な課題がある現代において、全国各地で地域の方々との深い信頼関係を築いている信用金庫のネットワークだからこそ解決できた事例です。**まさに、金融機関に求められている、「金融仲介機能の質の向上」が実現した、高い付加価値を生み出す金融サービス産業の新たなビジネスモデルではないでしょうか！



よい仕事おこしネットワーク

## 成約事例

# 東京の人気店と福島県の産地直送キャラバンの出会い!!

東京で人気の飲食店と、福島の農産物の産直販売キャラバンが互いの販路やサービスの向上のための業務提携を締結いたします。

町特産品開発協が提供

矢祭産野菜

都民魅了へ

老舗の割烹とんかつ店で利用

仕事おこしネット活用第1弾

矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。

矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。

◀福島民報2019年1月19日(土)掲載記事

都内老舗とんかつ店と協定

よい仕事ネット活用の矢祭特産品協

矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。

矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。矢祭町は、福島県の農業生産量が全国で1位の大井川の水を育む地域として、多くの野菜を生産しています。矢祭町は、新鮮な野菜を多く持つことで、多くの飲食店で利用されています。

福島民報2019年1月21日(月)掲載記事▶

新鮮で味のよい野菜を模索していた飲食店「割烹・とんかつ ひろせ」(東京都品川区)と、福島県矢祭町の農産物を東京で販売していた産直キャラバン「矢祭 もったいない市場」(福島県矢祭町)が、市場ではあまり出回っていない地元野菜の提案や、季節野菜の安定供給などに関して業務提携を行うことになりました。「割烹・とんかつ ひろせ」では、かねてより福島県の復興を応援していましたが、今回のネットワークをきっかけに提携が具体化、素材にこだわる東京の人気店と、地元の農家が育てた新鮮なこだわり野菜を東京のマーケットに届けようとする福島の団体とのマッチングは両者のサービス向上や販路拡大をもたらします。

よい仕事おこしネットワーク

## 成約事例

# 産業廃棄物として廃棄していた“千葉”的貝殻が “福島”で新たな商品に!!

福島県で環境事業を行う企業と、  
千葉県で水産加工業を行う企業が連携し、  
従来産業廃棄物として廃棄していた貝殻から、  
新たな環境ビジネスを生み出します。



▲福島民報2019年4月22日(金)掲載記事



▲福島民報2019年4月23日(土)掲載記事

福島県内で“産業廃棄物も限りある資源”として有効活用する事業を展開しているトラスト企画株式会社から、東北・関東地方で廃棄貝殻を無償でご提供いただける企業を紹介して欲しいと相談を受けた取引金融機関のひまわり信用金庫は、「よい仕事おこしネットワーク」を介して情報を発信。情報を受けた千葉信用金庫が、海岸沿いに店舗網の多い銚子信用金庫へ連絡したところ、白金庫の取引先で貝殻等を産業廃棄物として代金を支払って処分している企業に紹介し、事業者同士が合意に至り提携が実現! 今回のマッチングでは、今まで有償で廃棄していた産業廃棄物が資源として再生され、抗菌食器や抗菌緩衝材などに生まれ変わります。

よい仕事おこしネットワーク

## 成 約 事 例

# 復興への想いを乗せ花卉栽培を 飯館村の基幹産業に!!

福島県飯館村で生産された花苗を信用金庫の店舗に飾り、  
花卉産業を首都圏や全国に向けて発信することで、  
新しい村づくりに取組んでいる飯館村の基幹産業を生み出します！



福島県飯館村は、阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた村でしたが、東日本大震災に伴う原発災害により全村避難を余儀なくされ、2017年3月31日には避難指示区域解除が宣言され、新しい村づくりが始まったものの、避難指示区域解除後の帰村率が未だに低い状況にあるため「昔のような魅力ある村にしたい!!」「子供たちが誇れる産業を育てたい!!」「風評被害を払拭したい!!」と強い想いを持っている飯館村の復興を支援して参ります!!

現在、飯館村では、昔のような美しい村への復興のシンボルとして、花卉栽培を復活させ、村の基幹産業に育てるために多くの生産者が動き出しており、その花苗を城南信用金庫営業部本店の入口に設置して、村の復興を首都圏で広く周知すると伴に、「よい仕事おこしネットワーク」を使い、飯館村産の花苗を全国に発信することで、原発災害で甚大な被害を被った飯館村の新しい産業を応援して参ります。

## よい仕事おこしネットワーク



## 成約事例

# 障がい者がワイン造りを手掛ける 福島県のワイナリーに大規模ツアーが訪問

今春、東京の信用金庫が実施する大規模な旅行会が、  
障がい者がワイン造りを手掛ける福島県いわき市のワイナリーを訪れます。

**復興の現状を理解**  
いわきの観光施設など視察

城南旅行会の一行は、いわき市を訪れた。城南旅行会（東京都品川区）の本店で、いわき市を訪れた旅行会の一行は、いわきの観光施設など視察を行った。

左側の写真は、いわき市役所前の広場で行われた「復興の現状を理解」の視察会。右側の写真は、城南旅行会の一行が、いわき市役所前の広場で行われた「復興の現状を理解」の視察会。

本文は、いわきの観光施設など視察についての記事です。



▲福島民報2019年4月13日(土)掲載記事

開業したばかりで団体客の集客を模索していたワイン直売・観光施設「いわきワイナリー」(福島県いわき市)に、「城南信用金庫」(東京都品川区)が企画する3,000名規模の旅行会のツアーが、今春(4~5月にかけて14行程で)訪れることになりました。「いわきワイナリー」では、障がい者らが、いわき市内でブドウの栽培から醸造までを手掛け、「いわき夢ワイン」を製造し、直売・観光施設である「いわきワイナリーガーデンテラス & ショップ」にて販売しています。ワイン造りは、地元NPO法人が、障がい者就労支援として2009年から取り組み、東日本大震災でブドウ畠が被害を受けましたが、栽培を再開し、15年から醸造、出荷しています。「ガーデンテラス & ショップ」は、農産物の6次化施設として地元産ワインをアピール、観光振興も担っており、地元ひまわり信用金庫（福島県いわき市）では開設当初より支援を行っていましたが、今回のネットワークをきっかけに東京の信用金庫に集客を打診、その打診に城南信金が応え3,000名規模の招客につながりました。また、別の都内信金でも5~6月に大規模旅行会の訪問を予定しており、集客拡大をもたらしております。



よい仕事おこしネットワーク

## 成 約 事 例

# 東京の大規模ツアーが被災地いわきの観光と スパリゾートハワイアンズ宿泊

今春、東京の信用金庫が実施する大規模な旅行会が、  
東日本大震災の被災地の福島県いわき市内を観光し、  
スパリゾートハワイアンズに宿泊しています。



城南旅行会 いわきのハワイアンズ訪問  
じんがら  
高校生披露



▲福島民報2019年4月12日(金)掲載記事

未だ、福島第1原子力発電所事故の風評被害に苦しむ福島県いわき市に、「城南信用金庫」(東京都品川区)が企画する3,000名規模の旅行会のツアーが、4~5月にかけて14行程で訪れ、市内を観光し、スパリゾートハワイアンズに宿泊しています。いわき市内の観光名所や観光施設には、未だ震災前の客数に戻らず苦しんでおり、こうした地元観光業の苦境を打開するため、ひまわり信用金庫がネットワークを介して東京の信用金庫に向けて団体旅行の誘致を打診したところ、城南信金の3,000名規模の招客につながりました。ネットワークでは、今回の大規模団体旅行誘致をきっかけに、全国の各信金に再度、団体旅行の誘致を行い、集客拡大をもたらす予定です。

